

新潟県での令和最初の予備自衛官 5 日間招集訓練を支援



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）は6月7日（金）から11日（火）までの間、陸上自衛隊新発田駐屯地において実施された予備自衛官5日間招集訓練を支援しました。

訓練は第30普通科連隊（連隊長 1陸佐 堀口大助）が担任し、新潟県で実施される令和最初の5日間招集訓練であり、予備自衛官101名が参加しました。

訓練項目は精神教育、武器訓練、救急法、通信訓練、警備訓練等で、各予備自衛官は必要な知識及び技能について復習を行い、練度の維持・向上を図りました。また、射撃検定は前日に梅雨入りした影響で雨の中での実施となりましたが、各人が集中力を発揮して、良好な検定結果を得られました。



表彰式は永年勤続者表彰として防衛大臣表彰1名、東部方面総監表彰1名、上限年齢退職者に対する顕彰2名の表彰伝達を行い功績を称えました。



新潟地本は、今後も出頭確認等、部隊に対する支援を適確に行い、出頭予備自衛官の身上把握、自衛官・予備自衛官等の募集協力依頼等を実施するとともに、訓練環境の改善や訓練出頭率の向上を図っていきます。